

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業の現状（DOC）	事務事業名 No. 540102 大気環境調査事業		主管課名 環境課								
	この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境								
		施策	環境と人にやさしいまち								
		基本事業	環境の保全								
	(1)事業の概要										
	降下ばいじん測定調査 大気環境調査（排ガス・臭気） その他、臨時調査及び愛知県による大気測定調査あり			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)							
				名称	単位						
				大気環境調査回数	回						
				その指標							
	(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		市内1箇所の自動車排出ガス調査、5箇所の悪臭調査、5箇所の降下ばいじん調査を委託業務で実施し、汚染状況を把握して「みよしの環境」に掲載した。								
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容									
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)								
大気環境・市民			名称	単位							
			大気測定地点数	点							
			人口	人							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)								
大気中の汚染物質状況を把握して公表する			名称	単位							
			大気調査結果の公表項目数	項目							
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)								
生活環境の状況を把握し改善する			名称	単位							
			公害苦情件数	件							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の活動指標		回	76	76	76	76	76	76			
(6)の対象指標		点	12	12	12	12	12	12			
		人	58,216	58,762	60,600	61,400	62,500	63,700			
(7)の成果指標		項目	25	25	25	25	25	25			
(8)の結果の成果指標		件	22	17	20	20	20	20			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	04	項	01	目	06
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	4,514	8,333	9,976	9,167	9,167	9,167			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	4,514	8,333	9,976	9,167	9,167	9,167			
人件費B		千円	554	643	643	643	643	643			
正職員従事時間×人数		時間×人	75×2	57×3	57×3	57×3	57×3	57×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0			
その他費用C		千円	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	5,068	8,976	10,619	9,810	9,810	9,810			
単位あたりコスト (トータルコスト/ (6)の対象指標)	千円/ 点	422	748	885	818	818	818				
	千円/ 人	0	0	0	0	0	0				
	千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	540102	大気環境調査事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	公害問題発生時 から			
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
大気汚染防止法により排出基準、環境基準が規定されているため、大気中の汚染物質数値を把握し公害防止に努めるため				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない 変化している				
変化し酸性雨、地球温暖化等の地球規模の問題が表面化している				

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令	
		法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	自治事務	→	根拠法令	大気汚染防止法
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？		結びつく		理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？		できる	→	内容	
			できない	→		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？		できる	→	内容	
			追加	→		
			できない	→		
	有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？		影響が大きい	理由又は内容	
				多少影響がある		
		影響はない				
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？		できる	理由又は内容	大気調査結果については既に全ての調査項目について公表しているため、向上は困難である		
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？		できない				
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？		ある	→	類似事業名	水環境調査事業	
		ない	→	類似事業との再編の可能性	ある	
		ない	→	内容		
効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)		ある	→	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)		ある	→	内容	
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？		ある	→	内容	
			ない	→		
		受益者がいない	→	現状で適正		
			→	検討が必要		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	大気状況の把握は生活環境保全のためにも調査測定は重要であるため今後も継続していく					